

「J」Tの森 積丹 誕生

「海を育む水源の森に！」

計画面積 350 ha 道内最大規模の企業の森林整備を誘致



▲森林保全協定調印式（11月30日 総合文化センター）
左から松井町長、志水日本たばこ産業株式会社副社長、神後志総合振興局長

北海道初の「J」Tの森

日本たばこ産業株式会社（J T）と町は去る11月30日に総合文化センターで、ほっかいどう企業の森林づくり事業による森林保全協定の調印式を行い、北海道内で初となる「J Tの森」が積丹町で実施されることになりました。

調印式には国や道の関係者、町議会議員、町内の自治会や産業団体等から90人が出席し、後志総合振興局神耐三局長の立会のもと、日本たばこ産業株式会社志水雅一代表取締役副社長と松井町長による森林整備の協定が締結されました。

今後10年間、同社の支援を受け、森林整備計画に基づく海を育む水源の森づくりが実施されます。

調印式には国や道の関係者、

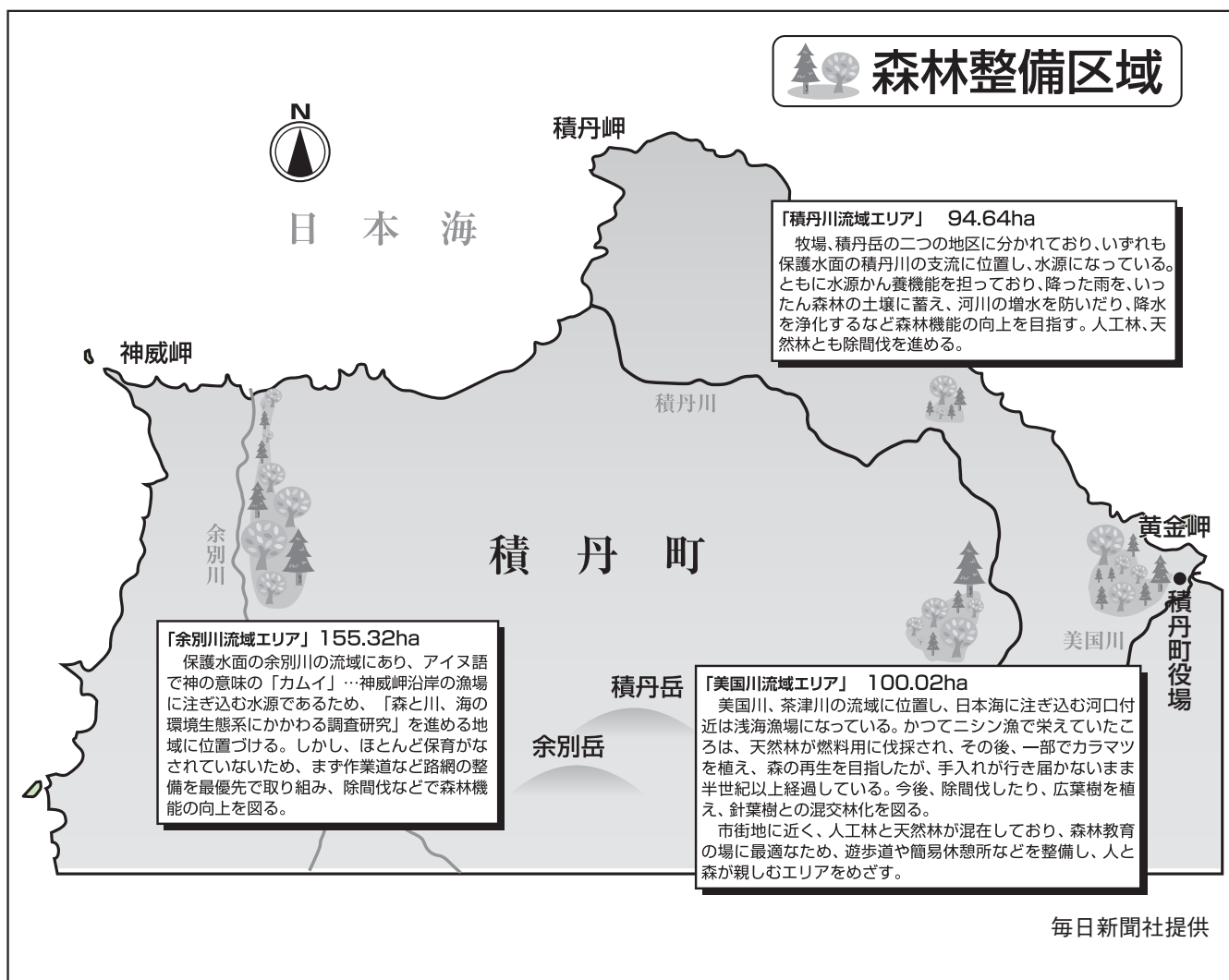
志水副社長は「北海道ではじめての実施となる

「J Tの森」は、事業量、事業期間がこれまでの最大。北海道の持つ広大なイメージに合った事業を展開したい。」と、実施に向けての意欲を話していました。

調印式に引き続き、町が主催する協定調印記念交流会が行われ、同社本支店の社員と出席者が初めての交流を深めました。



▲記念交流会



全国の「J-Tの森」で最大規模地域に適した森林施業に挑戦

平成23年度から10年間に美国川、積丹川、余別川のそれぞれの河川流域に位置する4カ所の町有林で行われる森林整備は、計画面積350ha、総事業費約1億円が計画されており、全国の「J-Tの森」の中で、最大規模の計画面積となっています。活動が実施される町有林は、長年保育施業などが行われず、

森林の機能低下が懸念されていたほか、下流域における「磯焼け」の原因のひとつであるとも考えられています。

「J-Tの森積丹」は、除間伐や広葉樹の植栽、作業道の開設など、生物多様性の保全や森林の多目的機能の向上に配慮した、地域により適した施業方法の取組などにより、森と川と海を繋ぐ「海を育む水源の森づくり」を目指して行います。

小さな交流が始まっています

クリスマスツリーを寄贈

町は12月10日、「JTの森積丹」で育ったアカエゾマツを日本たばこ産業株式会社札幌支店（札幌市中央区）に寄贈しました。高さ3mほどのアカエゾマツはクリスマスツリーとして、色とりどりの装飾が行われ、同社玄関前に飾られました。



町係長職2人が「JTの森」先進事例を視察

10月28日から31日、西川源農林水産課主査と木田光昭企画課主査の2人が日本たばこ産業株式会社の招きを受け、同社が行う「JTの森」での森づくりを通じた交流活動の先進事例地として岡山県智頭町を視察しました。

この日、JT本支社の社員や家族と町民合計約100人が参加し、下草刈りや作業道の整備などの森林整備作業のほか、シイタケの栽培やしめ飾りづくりなどが行われ交流を深めました。

昼食には地域で「イモ鍋」を準備するなど町民の歓迎ムードの中、終始和やかに交流が行われていました。



新たな地域の活性化にも期待

「JTの森積丹」の森林整備を通じて、積丹町と日本たばこ産業株式会社の社員やその家族など、都市住民との交流活動の

計画が検討されています。植樹や間伐作業などを町民と協働して実施することで継続的な友好関係を築き、新たな地域の活性化にも繋がることが期待されています。

積丹ブルーを育む「森と川と海」

道内数カ所の候補地に燃える！

日本のトップ企業の日本たばこ産業株式会社（旧日本専売公社）。「北の大地にふさわしい北海道初の『JTの森』をぜひ積丹町に。」そんな熱い思いを一

つにして松井町長を陣頭に職員一丸となって誘致に取組んできました。

6月14日、道水産林務部と後志総合振興局林務課の職員立会の下で行われた日本たばこ産業株式会社本支店職員が初来町での現地調査とプレゼンテーションへの対応など、約1年に及ぶ努力がようやく実った協定調印式でした。

また、10月18日には、「JTの森」アドバイザーの鈴木横浜国立大学学長が町内視察に初来町されたことも町史に残る出来事のひとつとなりました。



▲保護水面余別川を視察する
鈴木横浜国立大学学長(右2人目)

日本たばこ産業株式会社の社会貢献活動

海外4カ所 国内8カ所で「JTの森」を展開中

日本たばこ産業株式会社は、

日本たばこ産業株式会社 (JT) 概要

会社名	日本たばこ産業株式会社
設立年	1985年(昭和60年)
資本金	1,000億円
売上高	単体：2兆572億円 連結：6兆1,346億円
従業員数	単体：8,961人 JTグループ：47,665人

国内外におけるたばこ事業のほか、医薬事業、食品事業を核に世界120カ国以上の国と地域で事業を展開しています。

同社では、企業による社会貢献活動として、現在海外4カ所、国内8カ所での「JTの森」による森林保全活動を実施しています。

タバコの生産には大量の紙を使用し、加工食品の生産には農水産物の恵みを受けることから、自然からの恩恵を受けて事業が成立するとして、積極的な社会貢献活動が行われています。

このほか、社会福祉や文化・芸術活動、大規模災害による被災地域への支援など全国各地様々な社会貢献活動を実施しています。